

令和元年度「電波の日・情報通信月間」記念式典を開催

－電波及び情報通信の発展に貢献された個人及び団体並びにデジタルコンテンツ
の今後の創作活動が期待される方を表彰－

近畿総合通信局（局長 大橋 秀行（おおはし ひでゆき））は、近畿情報通信協議会（会長 伝川 幹（つたがわ かん） 讀賣テレビ放送株式会社 代表取締役社長）と、令和元年度「電波の日・情報通信月間」記念式典を共催し、電波及び情報通信分野の発展に貢献した個人及び団体並びにデジタルコンテンツの今後の創作活動が期待される方を表彰します。

- 1 日時
令和元年 6 月 3 日（月曜日）午前 11 時から
- 2 会場
ホテルニューオータニ大阪 2 階 「鳳凰の間」
（大阪府中央区城見 1-4-1）
- 3 式次第
 - (1) 開会
 - (2) 主催者あいさつ
 - (3) 表彰
「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞（別紙 1）
「電波の日」近畿総合通信局長表彰（別紙 2）
「情報通信月間」近畿総合通信局長表彰（別紙 3）
近畿情報通信協議会会長表彰（別紙 4）
 - (4) 来賓祝辞
 - (5) 閉会

<電波の日とは>

昭和25年(1950年)6月1日に電波法、放送法及び電波監理委員会設置法が施行され、それまで政府に限られていた電波の利用が広く国民に開放されました。これを記念して6月1日が「電波の日」に定められ、今年で69回目を迎えます。

<情報通信月間とは>

昭和60年(1985年)の情報通信の制度改革を契機に情報通信の普及・振興を図ることを目的として設けられました。毎年5月15日から6月15日までの期間中に各管内で情報通信に関する様々な行事を開催しており、今年で35回目を迎えます。

<近畿情報通信協議会とは>

平成15年(2003年)、情報通信の健全な普及発展と情報通信の利用による国民生活の向上に寄与するとともに、会員相互間の緊密な連絡と親睦を図ることを目的に設立されました。地方自治体、電気通信事業者、放送事業者、有識者など201会員で構成されています。

<地域発デジタルコンテンツの奨励とは>

総務省では、全国の総合通信局及び沖縄総合通信事務所において、クリエイターの育成や作品発表の場の提供、地域からの情報発信等を目的に、デジタルコンテンツに関するコンテスト等の共催・後援を行っています。

その中でも、特にすばらしい作品を制作し、今後の創作活動が期待される方々について、総務大臣奨励賞を授与しています。

連絡先：総務部総務課

(担当：川崎、魚野)

電話：06-6942-8510

「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞

大阪市立九条南小学校 九条南☆23 様
(大阪市立九条南小学校6年生)

作品名 : 知ってる? フィルタリング!

「電波の日」近畿総合通信局長表彰

個人

佐藤 周 様

(和歌山県情報化推進協議会 幹事長

国立大学法人和歌山大学 名誉教授)

和歌山県情報化推進協議会の幹事長として南海トラフ巨大地震の発生に備え和歌山県内の地域住民に避難情報などが確実に伝わるための情報伝達手段の確保に向け臨時災害放送局の開設訓練を通じてその有効性を広く示すなど献身的に県内の大規模災害に備えた体制づくりに多大な貢献をされました。

団体

朝日放送テレビ株式会社 様

(代表：代表取締役社長 山本 晋也 様)

テレビ受像機内の郵便番号データを活用し緊急性の高い災害情報を本放送の映像に重ねて表示させるシステムを国内初で実用化しその活用により昨年の台風到来時などにおいて地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。

一般社団法人日本アマチュア無線連盟 関西地方本部 様

(代表：理事・関西地方本部長 田中 透 様)

アマチュアガイダンス局を運用することでアマチュア無線の運用の適正化に大きな役割を果たし電波規正用無線局との合同運用にも積極的に応じるなど管内における無線通信の秩序及び電波利用環境の維持に多大な貢献をされました。

大阪府警察本部 生活安全部 様

(代表：部長 高木 久 様)

所轄の警察署を積極的に指揮することで全国的にも際立った回数 of 不法無線局の共同取締りを行い無線通信の秩序及び電波利用環境の維持に多大な貢献をされました。

「情報通信月間」近畿総合通信局長表彰

個人

平野 公 様

(読賣テレビ放送株式会社 コンプライアンス推進室 法務・知財管理部長)
インターネットリテラシー啓発動画コンテスト「動画フェスタ」においてただ一人の動画コンテンツ権利処理アドバイザーとして尽力し活動を支えるとともにメディアを通じた社会に対する情報発信にも積極的に協力をするなど青少年のリテラシー向上に多大な貢献をされました。

松宮 雅美 様

(株式会社内田洋行 システムズエンジニアリング事業部
技術サポート&サービスビジネス推進部 サービス事業開発課)
総務省と文部科学省が連携し取り組むe-ネットキャラバンにおいて長年にわたり講師を務めリテラシー向上に資する取り組みの円滑な実施に尽力し地域におけるインターネットの安心安全な利用に多大な貢献をされました。

団体

加古川市 様

(代表：市長 岡田 康裕 様)
V-Lowマルチメディア放送波を用いて遠隔での避難所の鍵解錠が可能となるシステムを全国初で導入するとともにICTを活用した官民連携による見守りサービスを構築しこれを普及させるなど先進的取り組みにより地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。

近畿情報通信協議会会長表彰

個人

岡 育生 様

(大阪市立大学大学院 工学研究科 教授)

無線通信における変復調、符号化技術を中心に研究を行い、「時間・周波数拡散方式」を開発するとともに、無線 LAN のアクセスポイントの輻輳に効果的に対処する方法を開発するなど無線通信の発展に多大な貢献をされました。

井上 あい子 様

(兵庫県立大学大学院 経済学研究科 博士後期課程)

広域災害に備えた自治体と放送事業者との協業の意義を唱え、具体的な協業を構築するとともに、緊急避難誘導システム等の開発や普及啓発に努め産学官の連携に多大な貢献をされました。

団体

尼崎市立尼崎双星高等学校 様

(代表：学校長 谷 清隆 様)

永年にわたり工事担任者を多く輩出するとともに、「情報通信エンジニア」制度を活用し認定資格者を数多く輩出し、高等学校としてのスキルアップに先導的な役割を果たし情報通信人材の育成に多大な貢献をされました。

関西テレビ放送株式会社 制作技術局 制作技術センター 様

(代表：主事 山本 倫久 様)

長年の課題であったワイヤレスカメラの制御及びタリー信号の伝送においてモバイル IP 回線を使用したリモートでの各種制御が可能なシステムを構築し、中継番組等における映像のクオリティアップに多大な貢献をされました。

兵庫ニューメディア推進協議会 様

(代表：会長 家次 恒 様)

昭和 59 年の設立以来 35 年にわたり情報システムの調査研究や情報通信に係る普及啓発活動に取り組むとともに、地域の ICT 企業との交流を通じての産業振興や地域活性化の検討など地域の情報化の推進や支援に多大な貢献をされました。